

2 令和7年度橋本市立三石小学校スクールプラン

橋本市教育大綱（理念）

人が学びあい、共に育ちまちづくり

- ◆豊かな心と健やかな体を育みます
- ◆家庭教育・学校教育・社会教育の中で多様な学びを育みます
- ◆地域・家庭・学校が連携した地域教育力を育みます

保護者・地域の願い

- ・子どもの安全に配慮をして欲しい
- ・教育環境の改善をして欲しい
- ・自ら学ぶ子どもになり、学力の向上を図ってほしい
- ・地域との連携を充実させて欲しい
- ・学校でのことの情報発信を、早く確実にして欲しい

【学 校 教 育 目 標】

人権教育を基礎に据え、徳・知・体の調和のとれた児童の育成を目指す ～ふるさとを愛する心を育み、持続可能な社会を創り出すこどもの育成～

【めざす児童像】

仲間を大切にし、役割と責任を果たす児童の育成を目指す

- ・よく考えて進んで学ぶ子ども
- ・最後までやりぬく子ども
- ・自分を大切にし、他人を思いやる心をもつ子ども
- ・健康でたくましい子ども
- ・自ら考え正しく判断し、行動できる子ども

前年度の学校評価

- ・子どもの安全・健康への配慮は高評価
- ・基礎学力は定着しているが、家庭学習の定型的化や教員の授業力・対応力には不満足な部分がある。
- ・子どもは、基本的な生活習慣は身につけているが、規範意識は十分ではないと考えている。

児童の実態

- ・素直で謙虚
- ・学校は楽しいという児童が多い
- ・知識理解は優れている
- ・伝え合う力に課題がある
- ・意欲はあるが、積極的ではない

重点目標

豊かな心の育成

- ・学級集団づくり
- ・人権教育の充実
- ・道徳教育の充実
- ・態度教育の推進

確かな学力の向上

- ・授業改善への取組
- ・基礎・基本の確実な定着
- ・SDGs実現の鍵となるESDの推進
- ・ICT教育の推進

健やかな体の育成

- ・基本的な生活習慣の確立
- ・体育の授業の充実
- ・危機回避能力（自己決定力）の育成

地域に開かれた学校

- ・共育コミュニティづくり
- ・家庭、地域との連携
- ・防災、防犯教育の推進
- ・校種間の連携

具体的な取組

- ・児童会での縦割り活動や学級活動等で、子ども同士が関わる機会を増やす
- ・児童主体の学級活動を充実させる（自己決定力の育成）
- ・いじめアンケートを年間に3回実施し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める
- ・考え、議論する道徳授業を実践し、物事を正しく見極められる力を身につける

- ・授業改善を実施し、わかる授業・力のつく授業を創造する
- ・「和歌山の授業づくり基礎基本3か条」を徹底させた授業を行う
- ・ESDやプログラミング教育に取り組む
- ・一人一台の情報端末を効果的に活用する

- ・教育活動全体を通して、基本的な生活習慣（あいさつやルールの厳守等）を身につけさせる
- ・新体力テストの結果を反映した授業を実施する
- ・防災、防犯に関わる避難訓練や交通安全教室を計画的に行い、危機回避能力を育成する
- ・感染予防、けが防止に関わる正しい知識と基本的な生活習慣を身につけさせる

- ・紀見北中学校区コミュニティを推進する
- ・学校や学年、学級だより等を通して、学校の情報を発信するとともに、授業や行事等を積極的に公開する
- ・地域の方々の協力を得るとともに地域の行事等への参加を促す（市民性の育成）
- ・幼児教育施設や中学校との形にこだわらない教職員間交流促進

指標

- ・学校が楽しい（児童の肯定的な割合95%）
- ・人権教育を大切にしている（保護者の否定的な割合5%未満）
- ・道徳教育を重視している（保護者の否定的な割合5%未満）

- ・授業がよく分かる（児童の肯定的な割合95%）
- ・授業中、進んで発表する（児童の肯定的な割合80%）
- ・授業においてICTを積極的に活用する

- ・基本的な生活習慣が身についている（保護者の肯定的な割合95%）
- ・体育科での取組を充実させる
- ・体力の向上に努めている（保護者の肯定的な割合90%）
- ・安全教育を徹底する

- ・学校だよりを月1回発行する
- ・保護者との連携を密に行っている（保護者の肯定的な割合90%）
- ・校種間の小規模交流を一人あたり複数回以上実施する